

このファームウェアは **Omada SDN**プラットフォームに対応しており、**Omada**コントローラー **v4.1.5** 以降と互換性があります。

古い **Omada** コントローラーを使用されていて、**EAP**のファームウェアアップグレードを予定されている場合は、**Omada** コントローラーもアップグレードすることをおすすめします。[アップグレードガイド](#)に沿って **Omada** コントローラーをアップグレードしてください。

**EAP** が独立して動作している場合、ファームウェアアップグレード後に **EAP** がリセットされ、再構成する必要がありますので、あらかじめご注意ください。

#### 新機能/改良点:

1. Omada SDN コントローラーに対応できるようになりました。

Omada SDN コントローラーでは以下 2～8 が有効となります。

2. URL フィルター機能を追加しました。

3. IP ポート/IP プロファイル機能を追加しました。

4. 802.11 レートコントロール機能を追加しました。

5. MAC ベース認証を追加しました。

6. Omada SDN コントローラーのダッシュボードインターフェースでアソシエーションエラー統計の表示に対応しました。

7. SNMP V3 に対応しました。

8. アクセスコントローラー機能を最適化しました。

9. クイックセットアップ時における SSID 設定のスキップに対応しました。

10. HTTPS および SSH 機能のレイヤー3 アクセシビリティ設定を追加しました。

11. クラウドベースのコントローラー管理スイッチとコントローラーURL 設定を追加しました。

12. 複数クライアントの接続性能を最適化しました。

## バグの修正:

1. ゲストネットワークが 10.x.x.x の一部 IP アドレスで有効にならないバグを修正しました。
2. クライアントインターフェイスを連続でクリックするとクライアントエントリが表示されなくなるバグを修正しました。
3. 特定のユーザー期間コンテンツを設定すると、ポータル設定の保存に失敗するバグを修正しました。
4. SSID に ~!@#\$\$%^&\*()\_+{|:"|<>?/.,;'\[]-= 等が含まれている場合にポータルページがポップアップ表示できないバグを修正しました。
5. アプリが EAP の無線インターフェースへアクセスしている際に、管理 Web へアクセスできないバグを修正しました。
6. ポータル認証後にリダイレクト URL へアクセスできないバグを修正しました。

## 注:

1. EAP245 v3 のみが対象です。
2. 一部の新しい機能は古いバージョンと互換性がないため、アップグレード後にデバイスの構成が失われ、再構成する必要があります。アップグレード前に構成のバックアップをすることを推奨します。また新しいバージョンは古い構成ファイルの復元に対応していませんのでご注意ください。
3. このバージョンのファームウェアは、バージョン 2.1.X 以降の Omada アプリに適用されます。
4. 2018 年以前にリリースされたファームウェアからこのバージョンに直接アップグレードする場合、ダウングレードはできません。
5. このファームウェアは Omada コントローラー v4.1.5 以降と互換性があります。古い Omada コントローラーを使用されていて、EAP のファームウェアアップグレードを予定されている場合は、Omada コントローラーもアップグレードすることをおすすめします。 [Omada コントローラーアップグレードガイド](#) に沿って Omada コントローラーをアップグレードしてください。